

グローバル地磁気観測分科会活動報告

湯元清文

日 時：平成 13 年 11 月 23 日 11:00～12:00

場 所：九州大学箱崎キャンパス理学部数理 2 階講義室（2255 会議室）

出席者：湯元清文（九州大学） 西田泰典（北海道大学） 三品正明（東北大学） 林 幹治（東京大学） 歌田久司（同）、
荒木 徹（京都大学） 家森俊彦（同） 能勢正仁（同） 大志万直人（同）、橋本武志（同） 長尾年恭（理化学研究所、
代 理：佐柳敬造） 牧広篤（地磁気観測所）

グローバル地磁気観測分科会では分科会に直接関連する国際活動や国内活動について、以下のような議論がなされた。

- (1) 国際地球電磁気・超高層大気物理学協会（IAGA）の第 XII 回地磁気観測データ処理技術会議地磁気観測ワークショップ 2004 の日本開催について審議され、WS 内容、国内組織委員会（案）などが検討した結果、湯元を委員長とする国内組織委員会の設立が決まった。委員については国内関係大学、関係機関からの参加を得て、今後具体的な実施計画を検討して行く。
- (2) 第 17 期日本学術会議・地球電磁気研究連絡委員会・地磁気観測作業委員会で議論され、各機関から出された「地磁気観測-問題と果たすべき役割-」についての報告書は、引き続き改訂していく。
- (3) 日本学術会議、学会、大学、関係機関での動きについて意見交換がなされた。
- (4) 次回の会合は、平成 14 年 5 月 27～31 日に開催される合同学会期間中に行う。